

コミュニティの輪

彩の国コミュニティ協議会

平成28年度

埼玉県民の日式典



埼玉県のマスコット
「コバトン」

去る11月14日(月)、さいたま市文化センター(さいたま市)において「平成28年度 県民の日記念式典」が開催されました。知事表彰や小中学生の絵画・作文コンクールの表彰のほか、彩の国コミュニティ協議会主催のシラコバト賞、あしたのまち・くらしづくり活動賞の表彰が行われ、受賞者の代表に当協議会会長上田 清司埼玉県知事から賞状、副賞の楯が授与されました。



目次 contents

- P1 ■平成28年度 埼玉県民の日
・第48回「シラコバト賞」
・あしたのまち・くらしづくり活動賞
- P2 ■共助事例発表会
■地域支え合いの仕組み
～フリーキャスター堀尾正明氏講演～
- P3 ■市町村コミュニティ協議会の取組
- P4 ■会員紹介



彩の国
コミュニティ協議会
マスコット
サイコミ君

第48回 シラコバト賞

住みよい地域社会の実現のため、日頃、身近なところで、積極的な実践活動を地道に続けている個人や団体の活動と功績を称えるものです。今年度は146の個人、54の団体が受賞されました。



受賞団体紹介 ◀ 人形劇サークル たんぽぽ(朝霞市)

誰でも楽しめる人形劇を目指し、おやお劇場会員の有志で結成しました。長年にわたり保育園や高齢者等に手作りの人形劇の出張公演を実施しています。地域の行事にも積極的に参加し、好評を得ています。

平成28年度 あしたのまち・くらしづくり活動賞

住みよい地域社会を目指し、地域が直面している課題に自ら取り組み、多大な成果をあげた住民団体・企業に贈呈されるものです。当協議会の審査により、本年度は下記の6団体が受賞されました。優秀賞3団体を中央審査会に推薦した結果「柳瀬川をきれいにする会」が振興奨励賞を受賞されました。

優秀賞 ・柳瀬川をきれいにする会(所沢市)
 ・川口銀座商店街振興組合(川口市)
 ・NPO法人和光市食文化研究会(和光市)

奨励賞 ・笹目川の環境を守る会(さいたま市)
 ・NPO法人MiKOねっと(三郷市)
 ・町ぐるみん白岡(白岡市)

受賞団体紹介 ▶ 柳瀬川をきれいにする会(所沢市)

汚染が進んだ柳瀬川を昔のような清流に戻し、未来の子供たちに継承するため活動を開始しました。年3回実施しているクリーン作戦と称した清掃活動には、毎回たくさんの方が参加しており、地域の活性化につながっています。





共助事例発表会 元気なシニアの地域デビュー

彩の国
コミュニティ協議会

平成28年12月21日(水)、彩の国コミュニティ協議会の共助事例発表会が開催されました。東京都健康長寿医療センター研究所の倉岡正高氏による「シニアを活かすコーディネート」の講演に続き、以下の2団体から発表をいただきました。

講演 シニアを活かすコーディネート

東京都健康長寿医療センター研究所
社会参加と地域保健研究チーム

研究員 倉岡 正高氏



東京都健康長寿医療センター研究所が提言する「健康長寿の10か条」に「主観的健康観が高い」と「社会参加が活発である」があります。「主観的健康観が高い」とは、「自分は健康だ」と思っているということです。一方、家に閉じこもっていると歩行や認知機能に障害が発生する危険度が増加してしまうため、「社会参加が活発である」ことが重要とされています。

現在、「社会関係資本」「人のつながりから生まれる力」などと訳される「ソーシャルキャピタル」の概念が注目されています。これは主観的健康観とも深く関わっており、近所づきあいが濃厚な人は主観的健康観が高いという調査結果もあります。



シニアの活動は「自主化」と「継続」が重要で、そのためには小グループでの活動や、高齢期の課題をお互いに理解するような講習会が有効です。また、シニアの活動も、多世代が関わる活動にすることにより、地域資源が生かされ、活動も長続きし、結果的にソーシャルキャピタルが高まります。

地域で活動するコーディネーターは、あるひとつの活動に力を注ぐだけではなく、活動を幅広く重層的に見ていく必要があります。全体像を描いて活動すると、地域も変わっていきます。また、コーディネーターが活躍するためには、その役割を明確化し、コーディネーター同士のネットワークを作るなど、孤立させない配慮も必要です。

男のゆうゆう塾(川越市)

代表 斉藤 誠氏



中高年男性の仲間づくり・生きがいづくりを目的とした公民館の講座をきっかけに発足しました。

講座を自主企画で運営し、外部講師だけでなく、メンバーも自らの経験に基づいたテーマで講師を務めています。また、社会への恩返しとして高齢者施設等でのボランティアも実施しています。

NPO法人わらび市民ネット

先崎 隆氏



退職後、近所の方に誘われ「放課後子ども教室」に参加したことがきっかけで、「わらび市民ネット」で市民活動サポートセンターの運営に関わるようになりました。

現在は市の事業に関わり、シニアの地域活動やボランティアのきっかけづくりに取り組んでいます。

地域の支え合いの仕組み ボランティア養成講座

—共に助け、共に生きる、支え合いのまち—



講演中の堀尾正明氏

元気な高齢者等がボランティアとして、日常生活にちょっとした困りごとがある高齢者等をお手伝いし、謝礼を地域商品券などで受け取る「地域支え合いの仕組み」が、県内各地で実施されています。

より多くの方々に、この仕組みに参加していただくため、平成29年1月21日(土)にふじみ野市で、フリーキャスターの堀尾正明氏を講師に迎え、「ボランティア養成講座」が開催されました。(主催:埼玉県、NPO法人ふじみ野明るい社会づくりの会)

堀尾氏は、「地域の課題は、地域で解決できる」と指摘し、「ご近所の底力」などの番組で取り上げた事例を交えながら、地域で支え合うことの重要性について満員の客席に語り掛けました。

市町村コミュニティ協議会の取組

彩の国コミュニティ協議会では、市町村協議会が行う共助社会づくり事業に対して助成をしています。今年度の助成事業について、一部御紹介します。

いろは親水公園にぎわい創出事業(志木市コミュニティ協議会)

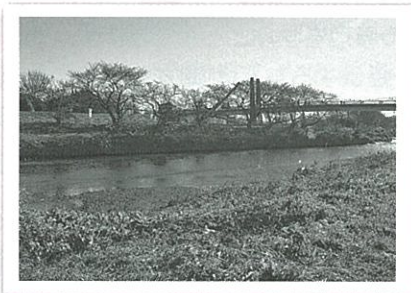
志木市コミュニティ協議会では、志木市が平成28年度にスタートさせた魅力発信プロジェクトの一環として、「いろは親水公園」の園内を四季折々の花で彩る取組を進めています。

12月の冬晴れのもと、芝桜の植え付けが行われました。この公園は新河岸川と柳瀬川の河川敷にあり、芝桜は護岸ブロックに植え付けされます。もともと花壇ではない場所のため、土が固く石や雑草の根を取り除かなければならず、皆さん苦戦されている様子でしたが、約100mにわたる見事な芝桜の花壇ができました。



作業の様子。風も強く寒さとの闘い!

園内には、芝桜のほか、菜の花、水仙、チューリップも植えられています。散策路や多目的広場、水辺の護岸などがあり、散歩やウォーキングを楽しむことができます。色とりどりの花を見に、お出かけしませんか。



公園の様子。芝桜の反対岸には桜並木があり、毎年多くの花見客で賑わいます。

お知らせ

「第2回志木コミュニティまつり」

満開の桜並木のもと、特産品や野菜の販売、ゆるキャラステージなどが行われます。植えた菜の花、チューリップもちょうど見頃!ぜひご来場お待ちしております。

日程: 3月26日

会場: いろは親水公園(志木市中宗岡5丁目2番)

主催: 志木市コミュニティ協議会

連絡先 志木市市民活動推進課 TEL.048-473-1111(内線2144)

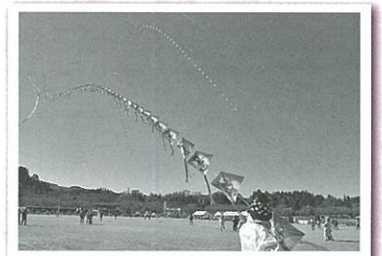


手づくり凧揚げ大会(日高市コミュニティ協議会)

お正月の風物詩である凧揚げですが、現在では至る所に電線が張り巡らされていることもあり、凧揚げの光景をあまり見かけなくなりました。

日高市コミュニティ協議会では、人と人とのふれあいを深めるとともに、青少年の健全育成及び市民のふるさと意識の醸成を図ることを目的として「手づくり凧揚げ大会」を開催しています。

平成29年2月4日(土)、巾着田多目的広場には、自慢の手づくり凧を持った多くの参加者が集まりました。この日はちょうど立春で、見事な晴天に恵まれ絶



晴れ渡った青空に舞い上がる連凧

好の凧揚げ日和。中学生以下の部、一般の部、連凧の部に分かれ、手作り凧の「できばえ」、「ありがとう」をもとに審査が行われます。参加者は、自慢の凧を審査員にアピールし、風のタイミングを見計らいながら次々と凧を揚げていきます。「すごく高く揚がった!今度はもっと大きい凧をつくりたい」「連凧がいくつも揚がっている光景は圧巻」などの声があがり、みな笑顔を見せていました。

作った凧で大会に参加しました。

「凧作り教室」開催しました!

大会に先駆けて、平成28年12月末に、小学生対象の凧作り教室が開催されました。

地域の凧作り愛好家の方々によるアドバイスのもと、各々こだわりの凧をつくることができました。



一般の部 知事賞を受賞した凧



会員紹介

彩の国コミュニティ協議会の会員を紹介します



株資生堂久喜工場

資生堂久喜工場は、主にシャンプー・コンディショナー・洗顔料などパーソナルケア製品を生産しています。資生堂のコーポレートメッセージである『一瞬も一生も美しく』の実現を目指し、様々な取組を行っています。

一例では地域貢献活動として、老人福祉施設での『ハンドケアイベント』や、『一人暮らしの高齢者に向けたメイク講座』に取り組んでいます。お化粧品は単に外見を整えるものではなく、メイク時に筋肉・脳を使うことによる『認知症抑止』や、『表情が明るくなり外出する機会が増える』などの効果が期待でき、高齢者の方の生活



ハンドマッサージ

の質の向上に役に立つことが当社の長年の研究により分かってきています。このような活動を通じて『お化粧の力』をお伝えし、より人生を楽しんでいただけるようご提案しています。

また、子どもたちが実験を通じて科学に親しむイベント『青少年のための科学の祭典』（科学技術館ほか全国で開催）に出展しています。ここで子供たちは様々な色を混ぜ合わせて自分の好きなリップカラー作りに挑戦し、楽しみながら混色の原理を学ぶことができます。

さらに、久喜マラソン大会に制汗効果のある製品を提供するなど、地域イベントにも参画しています。今後も地域・社会・お客さまに必要とされる工場となれるよう、積極的に社会貢献活動を実施していきます。



リップカラー作り

「小さな親切」運動埼玉県本部

「小さな親切」運動は昭和38年に、当時の東京大学総長であった茅誠司氏らの提唱でスタートし、以来、広く国民の間に「小さな親切」の心を育てる活動を行ってきました。現在全国に33道府県本部と140市町村支部があり、その中で埼玉県本部は全国で初となる県本部として昭和40年に発足しました。以降、県内には4つの支部が誕生し、現在も多くの行政、団体、個人の方々の御理解と御協力を頂きながら、日々積極的に事業推進しております。



クリーン作戦

当団体の主な取り組みは、実行章の贈呈、作文コンクール、地域環境の美化活動です。中

でも「小さな親切」実行章は、社会の中に埋もれているあたたかな行為を見つけ、表彰するもので、これにより思いやりの心を広めていこうという、まさにこの運動の根幹をなす事業です。誰でも推薦・受章することができ、また何度でも受章が可能です。

今後も「できる親切はみんなでしょう、それが社会の習慣となるように」をスローガンに「小さな親切」の心を育てる様々な活動を行ってまいります。

この運動に賛同し、協力してくださる方々の御参加をお待ちしております。



表彰の様子

サイコミ君情報局



彩の国コミュニティ協議会のマスコット「サイコミ君」は、各地のイベントでコミュニティ活動のPRを行っています。今年度もサイコミ君は大活躍!! 県内の様々なイベントに参加させていただきました。

「県庁オープンデー」(さいたま市)



多くの出場者がいるなか、なんと一番最後に登場!



ステージでの大役を終え、コミュニティ活動普及のため庁内を視察!? サイコミ君の登場に皆さんびっくり!

「ニャオざねまつり」(熊谷市)



さすが熊谷! みんなとあつ〜い交流を深められたよ。

「手づくり風揚げ大会」(日高市)



サイコミ君の風を会場に多数発見!

みんな、応援ありがとう!